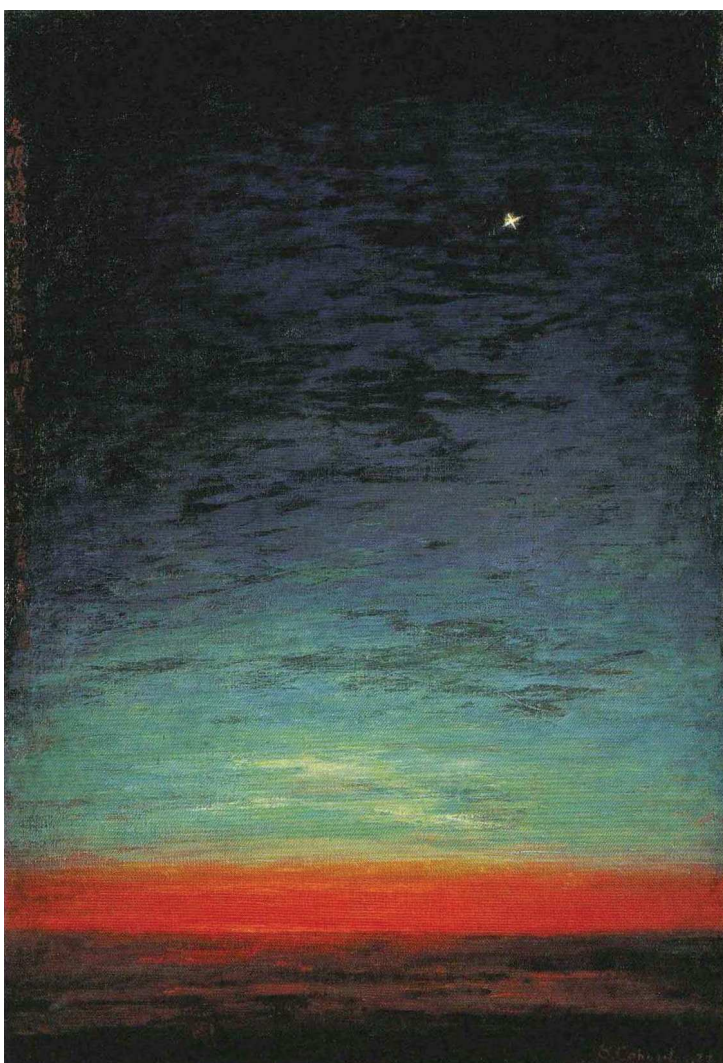


茅野市市制施行60周年記念事業 信濃美術をみつめる

描くこと

1977年 世田谷美術館蔵

小堀四郎《無限静寂(宵の明星―信)》



1938年 諏訪市美術館蔵

矢崎博信《高原の幻影》



東山魁夷《緑響く》

1982年 長野県信濃美術館 東山魁夷館蔵
※前期で展示 後期では《緑響く》(習作)を展示

この地との出会い

2018年

7月28日(土)〜9月9日(日)

10時〜18時

休館日 毎週火曜日

観覧料 一般500円(300円) 高校生以下無料

※東山魁夷作品については前期(7/28/8/13)と後期(8/15/9/9)で展示替えあり

※()内は20名以上の団体料金。 ※障がい者手帳 療養手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料

茅野市美術館

主催 茅野市美術館 共催 茅野市 茅野市教育委員会 助成 芸術文化振興基金 協力 長野県信濃美術館 東山魁夷館 NPO法人サポートC美遊com 一般社団法人ちの観光まちづくり推進機構 後援 長野県 長野県教育委員会 岡谷市教育委員会 諏訪市教育委員会 下諏訪町教育委員会 富士見町教育委員会 原村教育委員会 諏訪教育会 信州美術会 茅野市美術協会 岡谷市美術会 諏訪市美術会 下諏訪美術会 富士見美術会 信濃毎日新聞社 長野日報社 市民新聞グループ(紙) 長野エフエム放送 エルシーアイ株式会社 月村ふらさ、J.R.東日本長野支社、一般社団法人長野県観光機構 諏訪地方観光連盟 一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント 茅野商工会議所 信州諏訪農業協同組合

60th ANNIVERSARY 茅野市市制施行60周年



茅野市美術館では、茅野市市制施行60周年記念事業として、地域ゆかりの8人の画家を取り上げる展覧会を開催します。茅野市で生まれ育った者、教員として過ごした者、蓼科高原を愛し滞在した者など、画家とこの地とのつながりは様々です。本展では、約60点の作品を厳選し、それぞれが求めた美と、地域との出会いをみつめます。

正宗得三郎(1883-1962)は岡山県生まれ。1907年東京美術学校(現東京藝術大学)を卒業後に渡仏し、モネ、マティスらに接し学びました。茅野市・蓼科には写生に訪れ、長野県飯田市に疎開するなど、信州の自然に触れています。正宗の心からの感情は色彩となり、そして鮮やかに日本の四季を描きました。

中川紀元(1892-1972)は長野県辰野町生まれ。1912年諏訪中学校(現諏訪清陵高校)を卒業後、東京美術学校入学。後に中退。茅野市内での小学校教員を経て、1919年に渡仏しマティスに師事、フォーヴィスム(野獣派)を日本に紹介しました。その後、水墨画的な油彩画という独自の境地を開きました。

小堀四郎(1902-1998)は愛知県生まれ。1927年東京美術学校を卒業後、渡仏。1945年茅野市・蓼科に家族で疎開し、蓼科の美しく雄大な自然に魅せられ戦後10年間一人残ります。茅野市で自然を感受した経験が、後に自然の尊厳や生命の神秘を描くことに繋がりました。

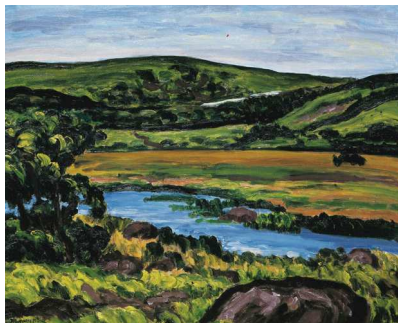
田村一男(1904-1997)は東京生まれ。1924年初めて茅野市・蓼科を訪れ、どこまでも広がる高原に感動し、以後日本の山や高原を主題とした作品を多く残しました。その作品は田村自身を投影していくかのように、年を経るごとに写実性を離れ、簡潔な構成と深い色彩による風景画へと展開しました。

矢崎牧廣(1905-1983)は茅野市生まれ。1924年上京し林武(1896-1975)に師事。矢崎は早い段階から、やや荒い骨太で力強い筆致の作風を体得し、生涯を通して、故郷の信州、日本各地、中国、東南アジア、欧州などの風景と向き合いました。

東山魁夷(1908-1999)は横浜に生まれ神戸に育ちました。1931年東京美術学校を卒業。戦中戦後の苦難の時代を経て、風景画家として独自の表現を確立します。茅野市・蓼科にある御射鹿池をモチーフとした《緑響く》をはじめ、信州、日本、世界の風景を主題に、その作品は深い精神性と豊かな叙情性を湛えています。

矢崎博信(1914-1944)は茅野市生まれ。1933年帝國美術学校(現武蔵野美術大学)へ入学。在学中、日本のシュルレアリスム(超現実主義)を標榜した先駆的グループを仲間と結成。1938年の帰郷後は小中学校の教員を務めながら、シュルレアリスムの視点から、俳諧と絵画の融合を試みましたが29歳で戦死しました。

篠原昭登(1927-)は茅野市生まれ。東京第三師範学校(現東京学芸大学)を卒業。その後、田崎廣助(1898-1984)に師事。一水会と日展への出品作の7割以上は自身の生まれ育った八ヶ岳山麓を取材し、萱ぶき屋根の山村や、棚田、里山、高原など、風土の変遷をみつめ続けています。



矢崎牧廣《緑ヶ池》1971年 長野県信濃美術館蔵



田村一男《雪の白樺湖》1997年 松本市美術館蔵



正宗得三郎《素園小景》1960年 府中市美術館蔵



中川紀元《閑業園女士像》1930年 辰野美術館蔵



篠原昭登《山麓初夏》1992年 茅野市美術館蔵

茅野市市制施行60周年記念事業 信濃美術をみつめる「描くこと この地との出会い」関連イベント

子どものための美術教室

「自分がみつけた好きな場所」

自分のお気に入りの場所で見つけた「しるし」を手元に置きながら、その場所の記憶をたどり、絵にして、その「しるし」とともに展示してみましよう。

8月11日(土・祝)10:00-12:00(9:30受付開始)

講師 | 大月ヒロ子(ミュージアム・エデュケーション・プランナー)

会場 | 茅野市民館ロビー 参加費 | 1人200円

持ち物 | ①自分が描きたい画材、②「しるし」1個 ※自分が気に入っている場所で見つけた落ちていたり、もったりした何か(葉っぱ、石、端材、セミの羽など何でも)、③「しるし」が入る大きさの箱

定員 | 20名(要事前申込み) 対象 | 小中学生(保護者の参加も可、小学4年生以下は要保護者同伴)

美術講座「描くこと 東山魁夷・田村一男・矢崎牧廣・矢崎博信」

8月12日(日)13:30開始

講師 | 瀬尾典昭(長野県信濃美術館 東山魁夷館 研究主幹)、

大島浩(松本市美術館学芸員)、茅野市美術館学芸員

会場 | 茅野市美術館

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

美術講座「描くこと 正宗得三郎・中川紀元・小堀四郎・篠原昭登」

8月26日(日)13:30開始

講師 | 志賀秀孝(府中市美術館 副館長補佐兼学芸係長)、

赤羽義洋(辰野美術館学芸員)、茅野市美術館学芸員

会場 | 茅野市美術館

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

きてみて!親子ギャラリーツアー

親子を対象としたギャラリーツアーです。ガイドと一緒に親子で話しながら、楽しく作品を鑑賞しましょう。

8月18日(土)11:00開始

ガイド | 茅野市美術館サポーター、学芸員

会場 | 茅野市美術館

参加費 | 無料(対象は小中学生とその保護者。保護者の方は1名無料。会場入口に5分前に集合。)

きてみて!ギャラリーツアー

お話しをしながら、ガイドと一緒に展示作品をめぐる。

9月1日(土)11:00開始

ガイド | 茅野市美術館サポーター、学芸員

会場 | 茅野市美術館

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

学芸員によるギャラリートーク

9月2日(日)11:00開始

会場 | 茅野市美術館

参加料 | 無料(要展覧会チケット)

特別講座「おでかけ美術館」

本展出品作家と地元作家の作品を展示し、ファンリテーター(進行役)と児童が対話しながら作品を鑑賞。その鑑賞体験を基に作品を作る授業の様子を見学します。

9月6日(木)9:00-12:50(8:40受付開始)

講師 | 三澤一実(武蔵野美術大学教授)

地元作家 | 小川格(画家)、橋口優(画家)

ファンリテーター | 茅野市美術館サポーター

会場 | 茅野市立泉野小学校

受講料 | 無料

定員 | 先着10名(要事前申込み)

「心に残っている風景や人を描こう」作品募集

募集期間 | 7月28日(土)~9月9日(日)

心に残っている風景や人を描いてみましょう。本展に來場した子ども(中学生以下)を対象に用紙を配布します。子どもたちが描いた夢の絵は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー、スロープに展示します。

~名画の生まれた風景を訪ねる~ “緑響く”深緑の御射鹿池ツアー

《緑響く》のモデルとなった御射鹿池や、滞在した温泉宿をはじめとする東山魁夷氏の足跡を訪ねる、贅沢な日帰りバスツアーを企画中です。

問合せ | 一般社団法人ちの観光まちづくり推進機構

ちの旅案内所 Tel.0266-73-8550



茅野市美術館

Tel.0266-82-8222

〒391-0002

長野県茅野市塚原一丁目

1番1号 茅野市民館内

<http://www.chinoshiminkan.jp/>

■JR中央本線・茅野駅下車、東口直結

■中央自動車道・諏訪ICより車で約12分